

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2272300738		
法人名	医療法人財団 百葉の会		
事業所名	グループホームわたしの家 1階		
所在地	静岡県富士市大淵352-2		
自己評価作成日	令和5年10月17日	評価結果市町村受理日	令和6年3月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&jiyosyoCd=2272300738-00&serviceCd=320&type=search
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和6年1月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設では1階2階を統括する統括リーダーの仕組みが成熟しその日に勤務している職員がケアに責任を持ち行動できる体制となっている。
午前中には、散歩や体操、歌の会を行い、午後は個別レクリエーションの時間と1日の中でも充実したラインナップで利用者もやりたい事を選べるようになっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

介護職員数が足りない事に悩む事業所が多い中、正社員が11名、パートタイマーは3名のみという職員配置にも恵まれ、管理者は夜勤業務に入らず日勤体制を保ち、1階・2階の両ユニットを統括している点は評価に価します。午前は散歩や体操、歌の会が励行され、午後は個別のレクリエーションや生活リハビリの時間として設定されています。パズルゲームの好きな人には職員が相手となり、洗濯畳みを自分の仕事と思っておこなう人への見守り、掃除が得意な人とは細かなところを職員と一緒にといった活動が日常に溶け込み、本人のやりがいや有感に実っており、共用空間は穏やかな空気に満ちています

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関に理念を掲示。 職員が確認できる状態にしている、個人の面談等でやりたいケアと理念については話をしている。	「今日も頑張ろう」と誰しもが仕事に活が入ると思われる事業所理念は玄関に貼りだされ、業務のスターとの基点となっています。また法人の理念は、常に確認できるよう各自のネーム入れに入っているほか、研修や面談を通じて都度確認する機会を設けています	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	本年度は運営推進会議を対面で開催している。その中で、民生委員や歌声サロンのメンバーも参加していただくなど、コロナ前の交流が徐々に戻っている。	以前「歌声サロンに参加していた」との利用者の存在もあってか、サロンから運営推進会議に参加くださる例があります。周囲に住宅がなく、目前に母体ともいえる同法人の病院があるのみで、環境的に町内関係が作りにくく、民生委員を通して地元の情報を得ています	周囲に住宅がないことから、疑似的なお隣りさんとして、様々なボランティアの開拓を図ることを期待します
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて、参加者向けに認知症の勉強会を開催し、認知症への理解を深めていただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の書面に、写真付きで施設の取り組みを報告をしている。それに対してご家族や参加者からコメント等をいただいている。	出席者は市職員、地域包括支援センター、民生委員、歌声サロンのメンバー、家族などです。写真も加えてわかりやすく事業所の活動を案内し、それに対して意見を得ています。終了後は勉強会と称して認知症やBCPの知識共有を図っています	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議では、富士市職員や地域包括の職員が参加をしてくださっている。また、施設の運営等相談事は直接伺ったり電話等で相談を行っている。	運営推進会議に市職員と地域包括支援センターが出席して下さることで、他の施設情報も得ることもあり、助けられています。運営推進会議は2ヶ月に1度なことから、毎日の運営における不明点は直接介護保険課に出向き、教示を受けています	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を定期的に開催し、勉強会も開催している。新しい職員に対しても勉強会を速やかに行い周知を徹底している。	エスケープが頻回な利用者は家族がGPS付の靴を管理するというケースもあります。そういったこれまでの経験からセンサーを取り付けていますが、「なしでも事故を防げるのでは」と話し合うことも続け、身体拘束排除に係る適切な対応を推進しています	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内出血等利用者の状況は速やかにインシデントにあげて早期発見に努めている。虐待防止の勉強会も取り入れ発生防止に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修へ参加し学ぶ機会を作り、特に管理者・介護支援専門員は研修等を通じて社会資源が活用できる様に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、利用者及び家族等に対して細かく説明等を行っている。 入居前には不明点や希望、質問等を聞いて入居に対して不安のないように対応している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様アンケートを年1回実施し、お客様の声に答えており、ご要望や意見に対し運営会議にて改善策を検討しアンケート結果や対策について報告を実施、又ご家族の要望等には常に迅速に対応出来るよう申し送りやキッチン内のボードを活用し職員間で情報共有を行っております	「運営推進会議では最高で6家族、必ず出席してくれる家族がいることから誰も出席しないことはない」とのエピソードに信頼関係の構築が渗みます。法人が年1回アンケートを実施しており、事業所では結果を真摯に受入れ、改善につなげています	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の運営会議や各委員会会議にて職員の意見や提案を聞き、運営に反映を行っております。又、現在はコロナウイルス感染症もあり全体会議を書面にて行っている為その都度職員からの意見も聞いております。	立地場所の影響からか「毎日の洗濯物が乾かない」という意見から、除湿器とサーキュレーターを購入しています。他にも福祉クリーニングの業者と契約するに至った例もあり、職員意見が働きやすさや効率化に実っています	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年度初めに個入目標を設定し、上期・下期で評価を実施し職員の意見を聞いております。職員評価制度による賞与・昇給制度、非常勤職員のベースアップやリーダー・副主任手当の導入、勤怠システムでの時間管理など働きやすい仕組み作りを法人管本部と共に行っております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間で研修計画を立て、研修参加を推進しております。研修はコロナウイルスの流行に伴いズームを利用した研修を実施。OJTシートを活用したトレーニングをプリセプターを付け確実に業務が行えるよう努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会はズームにて参加しておりますが、GH交流会はコロナウイルス感染症により行えておりませんので可能となったら再度参加させて頂きたいと思っております。現在は法人内同サービスの施設と連絡体制を取っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前はご家族様やご利用様の話を十分に聞き初期対応に努めております。生活状況の把握・ご要望、不安な事等を伺い安心して施設での生活をスタートして頂けるような配慮を行っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様へ密に連絡を取り、要望や不安に感じている事の傾聴を行い、常にご意見を頂けるように初期の関係づくりに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の置かれている状況を、家族や入院先、入所施設へ伺い情報共有を行いご本人、ご家族からの意見も頂いた上でその方に合わせたサービスの提供が行えるよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様に合わせた席の配置の検討を行い、なじみの関係が築けたり、関係性が上手く行く様に職員がコミュニケーションの橋渡しを行うように配慮しております。ご本人や周りの方との関係を常に気かけ席や対応はその都度職員間で話し合いもしております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お便り担当者により季節に沿ったイラストを考え、その月の企画やGHでの生活の様子を写真を選び書式を作成、その後お客様担当者により企画の様子やその月の体調について記載しご家族へ郵送を行います。面会時にも生活のご様子をお伝えしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時の規定に沿い対応しております。現在・検温・チェックリスト記入後お互いマスクを付けた状態で各階の玄関先にて、短時間ですが面会可能としております。	管理者は「利用者の家族に会いたい」気持ちを おもんばかり、電話連絡等で家族に本人の様子を届けることに乗じて、「月に一度は家族に立ち寄ってもらえるよう」お願いし、また来訪が難しい家族には電話回数を増やして、「待っている」ことを間接的に伝えていきます	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	1・2階での合同レクを実施しました。お散歩の際などに1・2階のご利用者様との交流も多く見られ会話等されています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後挨拶に来訪して下さるご家族もおりますが、定期的な来訪はない状況です。看取りで退去後に来訪されたご家族がいらっしゃいます。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	暮らしへの希望や思いを伝えられない利用者様に対しては、ご家族へお聞きしサービスの反映を行っております。伝えることが出来る方に対しては、その都度ご意向をお伺いしております。思いなどはボードの活用もしてリアルタイムで記録に残せるようにしております	本人の思いや意向は介護計画書へ十分に反映されています。「BSの釣り番組を見たい」との要望にはBS回線を導入した例をはじめ、「やりたいこと、希望することは叶えてあげたい」との姿勢があります。またボードを活用して即時に「思い」が職員に周知されています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族や施設に対し出来る限り詳細にアセスメントを取っております。又個別でカルテや生活記録ファイルを作成し職員が閲覧できる仕組みを作っております。申し送りなども活用し全員が把握出来るように努めております。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別の生活記録バインダーにケアプランを挟み、生活記録の裏面にはチェックリストを添付して常時確認できる仕組みとし、食事・バイタルチェック表を壁掛けにして、気になる際は確認し身体状況等の把握に努めております。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族への電話連絡や面会・ケアプラン説明時など、ご要望を伺い、お話しが可能なお客様には何気ない会話から要望を引き出してしております。お客様担当からは該当するお客様についてのケアプランの見直しについての意見も反映しております。	居室担当者の意見と家族要望も併せ介護計画書の作成につなげており、また5類以後は対面で担当者会議も開催できています。日々の生活記録には介護計画書のサービス内容載せて達成状況をチェックする仕組みがあり、職員の身近に介護計画が常にあります		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に詳細に日常の様子を記録しております。毎日実施するサービス内容については生活記録へ記載しチェックを行い、3か月ごとのモニタリングとプラン見直しの際に反映を行っております。又申し送り記録やキッチン内のホワイトボードでケアの情報共有を行っております。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ZOOMでの面会のご要望にもお応えしております。わたしの家ブログにて生活の様子を見ているご家族も多くなるべく可能な限り、更新するように努めております。来訪できないご家族様へのケアプラン郵送時等は生活の様子を添え報告を行う様に心がけております。			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のいきいきサロンや歌声サロンへ参加を予定している。、児童クラブの子供たちや法人の保育室ポッポのお子さん達との交流などコロナ前の交流を復活させつつあります。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回、本人やご家族の同意を得て訪問診療を受けております。又体調不良が生じた際も診療時間外でも外来にて対応をさせていただきます。ご家族希望時随時先生からのお話もして頂き、ご家族の希望も伝えさせて頂いております。	在宅からの主治医を継続する利用者が1名いますが、他は道を挟んだ反対側にある協力医に変更しています。非常勤看護師が週1度配置され、医師との連携も確かで、何かあれば時間外でも受入れがあり、距離的にも職員が担ぎ込めるため、家族は安心してます	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護記録へ、お客様の相談したい事項を記入、職員も付き添い報告を行いながら2週に1回、訪問看護の観察、処置を受けております。又外来診療時間以外の相談も早期に対応やアドバイスをして下さり、主治医等にも繋げて下さいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院等があった際は、相談員と連携を取り、情報共有に努め早期に退院が出来るようにご家族様との体制作りを行っており、不安要素の軽減を行い又骨折での入院等訪問リハビリを提案しなるべく早期にGHで生活をして頂けるよう配慮しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医よりご家族説明時、管理者・ケアマネージャーも同席させて頂き、終末期の方針について、共通の認識を持つように努めております。定期的な勉強会やカンファレンスを重ねる事により職員さんの終末期に対する理解を深めております。	病院の存在と信頼が大きく、重度化しても事業所での治療継続を希望することが多く、看取りについては職員も鍛錬が積まれています。終末期における事業所の尽力を見て取り、亡くなったあとも足を運んでくださって福祉用具の寄付に至るといったエピソードもあります	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを整備し、内容も現状に合わせて変更しております。夜勤へ入る職員へ急変時の対応や看取りについて、指導を行っております。急変の際のフローチャートはすぐに確認が出来るような位置に備えてあります。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間計画の防災委員会活動内容に沿い、定期的な訓練を実施するよう努めております。参加者を訓練を経験した事のない職員さんを組み込むよう考慮し、各職員が知識を身につけられる様な体制を心がけております。	年2回、防災委員を中心に委員会活動内容に沿って訓練をおこなっています。夜間想定では、各階1名の配置なことから法人の安否コールで連絡、駆けつける職員は法人の采配でなるべく近くの職員に要請がかかるよう仕組みだてられています	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様への声掛けや、見守りの際配慮が出来るか職員間でお互いに気を付けております。同性介助を希望されるお客様への対応も職員間で協力を行い対応しております。職員同士でも互いに声を掛け合い対応が適切かを常に気に掛けるようにしております。	管理者は利用者をお客様と呼んで敬いの気持ちを表しており、また「新人職員は管理者だと緊張するので普段話をする職員に意見を聞いてもらう」との話からも、尊重と配慮が視えます。このような姿勢は法人の小山ケアと、それに係る教育研修で培われています	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中から、お客様の想いや希望を自己決定をくみ取れる様に、自然な雰囲気でのコミュニケーションを取っております。希望が叶えられるようホワイトボードも活用してお客様からの意見を大切にしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様が個々のペースに合わせて過ごす事が出来るよう、職員もゆったりと関わりを持つように心掛け、お客様の声を聴き要望に出来る限り答えております。希望や要望は申し送り等で情報共有をしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	病院に併設している美容院より、ご家族や本人の希望にて職員が依頼をし、美容師さんが来訪して下さいます。又入居前の生活習慣を継続できるよう、ご家族様のご要望にも応えております。また、訪問理容をお願いする方もいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	約2か月に1回「わが家の台所」と称し、職員のオリジナルメニュー、毎月のミニ企画として季節のおやつ等の提供もしております。又、生活の流れの中でご利用者が積極的に家事活動に取り組んで頂ける様に職員が依頼をし実施して下さっています。	食事は業者配達のもの湯煎で、職員の手作りでの調理もあり、どちらもペーストや刻みの支援や工夫が施されています。利用者は職員見守りの下で切ったり、皮をむいたりのほか、盛り付けや後片付けを率先して手伝って下さいます	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日のトータルの食事量や水分量の確認を行い、十分に摂取出来ない場合にはお客様に合わせた水分の提供、申し送りにて報告を行っております。お客様に対して適正な栄養バランスが取れる様食材会社の利用を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っております。ご自身で歯磨きが出来る方は職員が声掛けや見守り、一部介助では持てる力を生かし行って頂いております。十分に磨けていない方に対しては仕上げ磨きを職員が行っております。義歯の清潔にも常に努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にてお客様個別の排泄パターンを確認しております。排尿の失敗がある方に対し職員間で十分話し合いアイテムや誘導時間の検討を行います。立位が十分に取れない方には、職員2名で介助を行いトイレで排泄が行えるよう支援しております。	立位が十分とれなくとも、職員2名の介助で「トイレで座って」を継続実践しています。寝たきりでおむつ対応でも職員は「基本トイレで」との想いがありますが、医療的な面から「そんなに無理しなくても」と医師に指南され、ベッド上でのオムツ交換となっている人もいます	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	10時と15時に水分摂取の時間を設け、ハフエティーに富んだ飲み物の提供が行えるよう配慮し、水分摂取が困難なお客様にはゼリー等での水分摂取のアップも行っております。ケアプランにも体操のサービス内容を組み込み毎日2回の体操や散歩を日課としております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その方の体調や気分に合わせて入浴の声掛けや対応を行う様心掛けており、入浴出来ない際はキッチン内のボードや生活記録に状況の記入し、翌日の職員へ申し送りを行っております。又、毎日入浴をしたいとの希望にも応えます。	医師から「血行促進のためにも毎日入浴があるといい」と口添えがあり、水虫対応と血行促進の為の足浴にほぼ毎日取り組み、入浴そのものは法定通りの週2回です。「夕方入りたい」にも応え、病状により入浴が困難な人には暖かいタオルで清拭を実施しています	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の状況に合わせた休息や就寝の対応を行っており、入眠時には楽な体制や居室内の照明、室温の調整にて気持ちよく眠れるように対応		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	調剤薬局を利用しお薬の管理や相談をさせて頂いております。臨時処方がある際は申し送りに処方箋コピーを添付、注意事項等記載するようにしています。内服方法表を作成しその方に合わせた内服方法を検討し統一、ケアプランにも内服方法について記載しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様にお手伝いをして頂いた際は、職員が感謝の言葉を伝える様に心掛けております。ご家族からの差し入れ等も申し送りで各職員へ伝達し、対応を行っております。お客様からの楽しみも会話の中から聞き取れるよう努めております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	園芸係によりプランターにて野菜を栽培し、散歩時にご利用者が収穫され喜ばれています。コロナが5類となり、外出する方もいます。ご家族から外出の希望があれば対応出来るように対応しています。	2ヶ月に1回、病院のバスを借りたドライブ外出があり、大型ショッピングセンターでの買い物も満喫する日もあります。病院裏手の公園散歩は日常となり、馴染みの美容院を継続する人、在宅の頃利用していたスーパーマーケットに職員と行くといった個別外出もあります	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の方針にてお金をご家族よりお預かりしておりませんが、外出企画等で買い物に出かける際は事前にご家族へ連絡を行い、施設の立替金で購入してよいか確認し対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人やご家族等からの要望に応えることが出来るよう支援を行っております。ご家族からの荷物が届いた際は連絡後、本人へお渡ししております。ズームでの面会を希望されたご家族への対応もその都度させて頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間については、法人の管理部や資材課へ相談し対応して下さる事が多く、職員もご利用者の声を聞き照明調整や温度調整・掛物・衣類の調整を随時行い不快を取り除くよう対応しております。	共用スペースの照明をLEDに替え、より明るくなっています。「冬は加湿器の水をきらさない」「換気は朝、全開にして空気の入替えをする」「キッチンの窓はいつも開けている」「掃除の行き届かない点はケアアシスタントに依頼」といった対策が細目におこなわれています	玄関先に季節の花々のプランターや樹木の鉢などがあると、目の保養とともに出入りのときでも発語が期待できると思います
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各スペースにソファやベンチを置いてあり、気の合ったお客様同士でお話しや休憩をされている場面もあり、居室でゆったりと過ごしたいとの希望がある方へは適宜居室へさりげなく様子を確認する等し対応しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前や後にも馴染みの家具や使い慣れた物品を持参して頂ける様案内をしております。今後も継続しご利用者様にとって安心して生活できる生活環境を整えていきます。	自宅からベッドを持ち込む人は年々少なくなっているものの、自立度の高い人はタンスや衣装かけが置かれています。洗濯も自分でおこない、自室に干しています。またどの部屋にも大容量のロッカーがあることから、安全な動線が確保できています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様が安全に移動が出来るように、危険が無いような動線の確保に努めており、修理の必要な箇所は修繕担当が迅速に対応しております。又、お客様のご希望に沿えるよう、歩行時は引き留めない対応を心がけております。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2272300738		
法人名	医療法人財団 百葉の会		
事業所名	グループホームわたしの家		
所在地	静岡県富士市大淵352-2		
自己評価作成日	令和5年10月17日	評価結果市町村受理日	令和6年3月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&jiyosyoCd=2272300738-00&serviceCd=320&type=search
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和6年1月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設では1階2階を統括する統括リーダーの仕組みが成熟しその日に勤務している職員がケアに責任を持ち行動できる体制となっている。
午前中には、散歩や体操、歌の会を行い、午後は個別レクリエーションの時間と1日の中でも充実したラインナップで利用者もやりたい事を選べるようになっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

介護職員数が足りない事に悩む事業所が多い中、正社員が11名、パートタイマーは3名のみという職員配置にも恵まれ、管理者は夜勤業務に入らず日勤体制を保ち、1階・2階の両ユニットを統括している点は評価に価します。午前は散歩や体操、歌の会が励行され、午後は個別のレクリエーションや生活リハビリの時間として設定されています。パズルゲームの好きな人には職員が相手となり、洗濯畳みを自分の仕事と思っておこなう人への見守り、掃除が得意な人とは細かなところを職員と一緒にといった活動が日常に溶け込み、本人のやりがいや有る感に実っており、共用空間は穏やかな空気に満ちています

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関に理念を掲示。 職員が確認できる状態にしている、個人の面談等でやりたいケアと理念については話をしている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	本年度は運営推進会議を対面で開催している。 その中で、民生委員や歌声サロンのメンバーも参加していただくなど、コロナ前の交流が徐々に戻っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて、参加者向けに認知症の勉強会を開催し、認知症への理解を深めていただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の書面に、写真付きで施設の取り組みを報告をしている。それに対してご家族や参加者からコメント等をいただいている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議では、富士市職員や地域包括の職員が参加をしてくださっている。 また、施設の運営等相談事は直接伺ったり電話等で相談を行っている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を定期的に行い、勉強会も開催している。新しい職員に対しても勉強会を速やかに行い周知を徹底している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内出血等利用者の状況は速やかにインシデントにあげて早期発見に努めている。 虐待防止の勉強会も取り入れ発生防止に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修へ参加し学ぶ機会を作り、特に管理者・介護支援専門員は研修等を通じて社会資源が活用できる様に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、利用者及び家族等に対して細かく説明等を行っている。 入居前には不明点や希望、質問等を聞いて入居に対して不安のないように対応している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様アンケートを年1回実施し、お客様の声に答えており、ご要望や意見に対し運営会議にて改善策を検討しアンケート結果や対策について報告を実施、又ご家族の要望等には常に迅速に対応出来るよう申し送りやキッチン内のボードを活用し職員間で情報共有を行っております		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の運営会議や各委員会会議にて職員の意見や提案を聞き、運営に反映を行っております。又、現在はコロナウイルス感染症もあり全体会議を書面にて行っている為その都度職員からの意見も聞いております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年度初めに個人目標を設定し、上期・下期で評価を実施し職員の意見を聞いております。職員評価制度による賞与・昇給制度、非常勤職員のベースアップやリーダー・副主任手当の導入、勤怠システムでの時間管理など働きやすい仕組み作りを法人管本部と共に行っております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間で研修計画を立て、研修参加を推進しております。研修はコロナウイルスの流行に伴いZoomを利用した研修を実施。OJTシートを活用したトレーニングをプリセプターを付け確実に業務が行えるよう努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会はZoomにて参加しておりますが、GH交流会はコロナウイルス感染症により行えておりませんので可能となったら再度参加させて頂きたいと思っております。現在は法人内同サービスの施設と連絡体制を取っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前はご家族様やご利用様の話を十分に聞き初期対応に努めております。生活状況の把握・ご要望、不安な事等を伺い安心して施設での生活をスタートして頂けるような配慮を行っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様へ密に連絡を取り、要望や不安に感じている事の傾聴を行い、常にご意見を頂けるように初期の関係づくりに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の置かれている状況を、家族や入院先、入所施設へ伺い情報共有を行いご本人、ご家族からの意見も頂いた上でその方に合わせたサービスの提供が行えるよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様に合わせた席の配置の検討を行い、なじみの関係が築けたり、関係性が上手く行く様に職員がコミュニケーションの橋渡しを行うように配慮しております。ご本人や周りの方との関係を常に気かけ席や対応はその都度職員間で話し合いもしております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お便り担当者により季節に沿ったイラストを考え、その月の企画やGHでの生活の様子を写真を選び書式を作成、その後お客様担当者により企画の様子やその月の体調について記載しご家族へ郵送を行います。面会時にも生活のご様子をお伝えしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時の規定に沿って対応しております。現在・検温・チェックリスト記入後お互いマスクを付けた状態で各階の玄関先にて、短時間ですが面会可能としております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	1・2階での合同レクを実施しました。お散歩の際などに1・2階のご利用者様との交流も多く見られ会話等されています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後挨拶に来訪して下さるご家族もおりますが、定期的な来訪はない状況です。看取りで退去後に来訪されたご家族がいらっしゃいます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	暮らしへの希望や思いを伝えられない利用者様に対しては、ご家族へお聞きしサービスの反映を行っております。伝えることが出来る方に対しては、その都度ご意向をお伺いしております。思いなどはボードの活用もしてリアルタイムで記録に残せるようにしております		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族や施設に対し出来る限り詳細にアセスメントを取っております。又個別でカルテや生活記録ファイルを作成し職員が閲覧できる仕組みを作っております。申し送りなども活用し全員が把握出来るように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別の生活記録バインダーにケアプランを挟み、生活記録の裏面にはチェックリストを添付して常時確認できる仕組みとし、食事・バイタルチェック表を壁掛けにして、気になる際は確認し身体状況等の把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族への電話連絡や面会・ケアプラン説明時など、ご要望を伺い、お話しが可能なお客様には何気ない会話から要望を引き出してまいります。お客様担当からは該当するお客様についてのケアプランの見直しについての意見も反映しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に詳細に日常の様子を記録しております。毎日実施するサービス内容については生活記録へ記載しチェックを行い、3か月ごとのモニタリングとプラン見直しの際に反映を行っております。又申し送り記録やキッチン内のホワイトボードでケアの情報共有を行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ZOOMでの面会のご要望にもお応えしております。わたしの家ブログにて生活の様子を見ているご家族も多くなるべく可能な限り、更新するように努めております。来訪できないご家族様へのケアプラン郵送時等は生活の様子を添え報告を行う様に心がけております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のいきいきサロンや歌声サロンへ参加を予定している。、児童クラブの子供たちや法人の保育室ポッポのお子さん達との交流などコロナ前の交流を復活させつつあります。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回、本人やご家族の同意を得て訪問診療を受けております。又体調不良が生じた際も診療時間外でも外来にて対応をさせていただきます。ご家族希望時随時先生からのお話もして頂き、ご家族の希望も伝えさせて頂いております。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護記録へ、お客様の相談したい事項を記入、職員も付き添い報告を行いながら2週に1回、訪問看護の観察、処置を受けております。又外来診療時間以外の相談も早期に対応やアドバイスをして下さり、主治医等にも繋げて下さいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院等があった際は、相談員と連携を取り、情報共有に努め早期に退院が出来るようにご家族様との体制作りを行っており、不安要素の軽減を行い又骨折での入院等訪問リハビリを提案しなるべく早期にGHで生活して頂けるよう配慮しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医よりご家族説明時、管理者・ケアマネージャーも同席させて頂き、終末期の方針について、共通の認識を持つように努めております。定期的な勉強会やカンファレンスを重ねる事により職員さんの終末期に対する理解を深めております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを整備し、内容も現状に合わせて変更しております。夜勤へ入る職員へ急変時の対応や看取りについて、指導を行っております。急変の際のフローチャートはすぐに確認が出来るような位置に備えてあります。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間計画の防災委員会活動内容に沿い、定期的な訓練を実施するよう努めております。参加者を訓練を経験した事の無い職員さんを組み込むよう考慮し、各職員が知識を身につけられる様な体制を心がけております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様への声掛けや、見守りの際配慮が 出来ているか職員間でお互いに気を付けてお ります。同性介助を希望されるお客様への対 応も職員間で協力を行い対応しております。 職員同士でも互いに声を掛け合い対応が適 切かを常に気に掛けるようにしております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	日常の会話の中から、お客様の想いや希望 を自己決定をくみ取れる様に、自然な雰囲気 でコミュニケーションを取っております。希望 が叶えられるようホワイトボードも活用してお 客様からの意見を大切にしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのよう に過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様が個々のペースに合わせて過ごす事 が出来よう、職員もゆったりと関わりを持つ ように心掛け、お客様の声を聴き要望に出来 る限り答えております。希望や要望は申し送 り等で情報共有をしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	病院に併設している美容院より、ご家族や本 人の希望にて職員が依頼をし、美容師さん が来訪して下さいます。又入居前の生活習 慣を継続できるよう、ご家族様のご要望にも 応えております。 また、訪問理容をお願いする方もいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている	約2か月に1回「わが家の台所」と称し、職員 のオリジナルメニュー、毎月のミニ企画として 季節のおやつ等の提供もしております。又、 生活の流れの中でご利用者様が積極的に家 事活動に取り組んで頂ける様に職員が依頼 をし実施して下さっています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	1日のトータルの食事量や水分量の確認を行 い、十分に摂取出来ていない場合にはお客 様に合わせた水分の提供、申し送りにて報 告を行っております。お客様に対して適正な 栄養バランスが取れる様食材会社の利用を 行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	毎食後の口腔ケアを行っております。ご自身 で歯磨きが出来る方は職員が声掛けや見守 り、一部介助では持てる力を生かし行って頂 いております。十分に磨けていない方に対し ては仕上げ磨きを職員が行っております。義 歯の清潔にも常に努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にてお客様個別の排泄パターンを確認しております。排尿の失敗がある方に対し職員間で十分話し合いアイテムや誘導時間の検討を行います。立位が十分に取れない方には、職員2名で介助を行いトイレで排泄が行えるよう支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	10時と15時に水分摂取の時間を設け、ハブエティーに富んだ飲み物の提供が行えるよう配慮し、水分摂取が困難なお客様にはゼリー等での水分摂取のアップも行ってまいります。ケアプランにも体操のサービス内容を組み込み毎日2回の体操や散歩を日課としております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その方の体調や気分に合わせて入浴の声掛けや対応を行う様心掛けており、入浴出来ない際はキッチン内のボードや生活記録に状況の記入し、翌日の職員へ申し送りを行っております。又、毎日入浴をしたいとの希望にも応えます。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の状況に合わせて休息や就寝の対応を行っており、入眠時には楽な体制や居室内の照明、室温の調整にて気持ちよく眠れるように対応		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	調剤薬局を利用しお薬の管理や相談をさせて頂いております。臨時処方がある際は申し送りに処方箋コピーを添付、注意事項等記載するようにしています。内服方法表を作成しその方に合わせた内服方法を検討し統一、ケアプランにも内服方法について記載しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様にお手伝いをして頂いた際は、職員が感謝の言葉を伝える様に心掛けております。ご家族からの差し入れ等も申し送りで各職員へ伝達し、対応を行っております。お客様からの楽しみも会話の中から聞き取れるよう努めております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	園芸係によりプランターにて野菜を栽培し、散歩時にご利用者が収穫され喜ばれています。コロナが5類となり、外出する方もいます。ご家族から外出の希望があれば対応出来るように対応しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の方針にてお金をご家族よりお預かりしておりませんが、外出企画等で買い物に出かける際は事前にご家族へ連絡を行い、施設の立替金で購入してよいか確認し対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人やご家族等からの要望に応えることが出来るよう支援を行っております。ご家族からの荷物が届いた際は連絡後、本人へお渡ししております。ズームでの面会を希望されたご家族への対応もその都度させて頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間については、法人の管理部や資材課へ相談し対応して下さる事が多く、職員もご利用者の声を聞き照明調整や温度調整・掛物・衣類の調整を随時行い不快を取り除くよう対応しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各スペースにソファやベンチを置いてあり、気の合ったお客様同士でお話しや休憩をされている場面もあり、居室でゆったりと過ごしたいとの希望がある方へは適宜居室へさりげなく様子を確認する等し対応しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前や後にも馴染みの家具や使い慣れた物品を持参して頂ける様案内をしております。今後も継続しご利用者様にとって安心して生活できる生活環境を整えていきます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様が安全に移動が出来るように、危険が無いような動線の確保に努めており、修理の必要な箇所は修繕担当が迅速に対応しております。又、お客様のご希望に沿えるよう、歩行時は引き留めない対応を心がけております。		